

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産及び無形固定資産・・・定額法による減価償却を行っている。
- (2) 引当金計算基準
退職給付引当金…職員の退職給付の支給に備えるため、期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金(基本財産)	241,200,000	0	0	241,200,000
小計	241,200,000	0	0	241,200,000
特定資産				
特定費用準備資金(特)	2,300,000	800,000	2,300,000	800,000
退職給付引当資産	76,009,586	4,678,900	3,390,000	77,298,486
小計	78,309,586	5,478,900	5,690,000	78,098,486
合計	319,509,586	5,478,900	5,690,000	319,298,486

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金(基本財産)	241,200,000	—	(241,200,000)	—
小計	241,200,000	—	(241,200,000)	—
特定資産				
特定費用準備資金(特)	800,000	—	(800,000)	—
退職給付引当資産	77,298,486	—	—	(77,298,486)
小計	78,098,486	—	(800,000)	(77,298,486)
合計	319,298,486	—	(242,000,000)	(77,298,486)

4. 担保に供している資産

該当なし

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
建物	2,230,356	1,748,708	481,648
建物附属設備	126,000	125,999	1
什器備品	7,038,715	6,200,402	838,313
館蔵美術品	14,075,000	0	14,075,000
小計	23,470,071	8,075,109	15,394,962
合計	23,470,071	8,075,109	15,394,962

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	14,497,370	0	14,497,370
立替金	600	0	600
合計	14,497,970	0	14,497,970

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
国庫補助金	文化庁長官	0	10,500,000	10,500,000	0	—
地方公共団体補助金	出雲市	0	21,000,000	21,000,000	0	—
助成金						
出雲市文化協会助成金	一般社団法人出雲市文化協会	0	100,000	100,000	0	—
いづも財団助成金	公益財団法人いづも財団	0	80,000	80,000	0	—
協賛金	実践桜会島根支部	0	50,000	50,000	0	—
合計		0	31,730,000	31,730,000	0	